1. **次の問いに答えなさい。**
2. 仕様規定(壁量設計)による建物は、何号建築物か答えなさい。
3. 構造計算を行わなければならない建物は何号建築物か答えなさい。
4. 仕様規定による壁量設計において、必要壁量は、ふたつの外力による決められている。何と何か答えなさい。
5. 壁倍率の最大値はいくつか答えなさい。
6. 重い屋根と軽い屋根とでは、地震に対する必要壁量は、どちらが多いか答えなさい。
7. 木造において、壁のバランス(ねじれ)を検討する方法を何というか答えなさい。
8. 検討を行う接合部は2か所ある。どの部材か答えなさい。
9. 接合部の金物をN値計算法で求める場合、Ｎ値が大きいと強い金物が必要か、弱い金物でいいか答えなさい。
10. 必要な壁の量は、風圧力に対しては風の当たる見付面積に比例する。地震に対しては、何に比例するか答えなさい。

(10) ふたつ割(45cm×90cm)の片筋かいの壁倍率は、2.0である。これをたすき掛けにした場合の壁倍率を答えなさい。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| 4号建築物 | 2号建築物 | 地震力と風圧力 | 5.0 | 重い屋根 |
| (6) | (7) | (8) | (9) | (10) |
| 四分割法 | 筋かいと柱 | 強い金物 | 床面積 | 4.0 |

1. 次の図において、Y0通りの存在壁量を計算しなさい。ただし、　　　印の壁倍率を2.0とし、1スパンを91cmとする。(40点)

X0

X1

X2

X3

X4

X5

X6

X7

X8

X9

Y0

Y1

Y2

Y3

2.0×(3×0.91)=5.46

5.46

m

答え：